

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育センターhibikids 訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年9月19日 ～ 2025年10月3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年9月19日 ～ 2025年10月3日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	2025年9月19日 ～ 2025年10月3日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験年数が長い専門職(作業療法士)が中心となって、専門性を活かした支援を提供している。	・感覚プロフィール等の評価を用いて、特性・個性を把握、強みを活かした支援を意識している。 ・園や学校の理念・方針に沿ってできる工夫を対案している。 ・臨機応変な対応をできるよう意識している。 ・研修を定期的に行っている。	・訪問先との連携強化。 ・客観的評価ツールを増やす。 ・研修継続。
2	・通所支援と併用しているお子さんは情報共有しやすい。	・事業所と連携が図りやすく支援の方針を統一しやすい。 ・園や学校での困り感に対して通所支援事業所でも取り組んでもらいやすい。	・通所支援の職員にも同行してもらい療育以外の場面を覗いてもらう。
3	・遠方へも訪問を行っている。	・関係機関と連携を図り、緊急性の高い事例に対しては早急に支援を行えるようにしている。	・契約数が増え訪問支援員が増えることで、より広範囲の地域にも訪問することが可能となる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・営業が足りない。	・訪問支援が開始して1年、現在は積極的な営業は行っていない。	・サービス満足の向上を図り、契約数を増やしていく。 ・本事業以外でも外に出向き営業を行う。 ・契約数が増えることで訪問数も増やすことができる。
2			
3			